## 天渓 2023年「花のアルプスハイキング9日間(イタリア)」

2023 年 欧州アルプス3回目のツアー「花のアルプスハイキング9日間(イタリア)」を7月13日~7月21日に行いました。このアルプスハイキングは「マッターホルンをイタリア側とスイス側の両方から眺める」を企画コンセプトにしたものです。ツアーは時としてビックリする事が起こります、と言うのは飛来するはずの成田折返し便が何かのトラブルで途中のインチョン空港(韓国)にダイバートして打切りに。ツアーの皆様は予定通りに出発できず1日遅れてミラノ到着になりました。皆様も災難でしたがこちらもスケジュール変更で右往左往。有難いことにその後は晴天に恵まれ、ご参加いただいた皆様にアルプスを楽しんでいただきました。



(モンテ・チェルビーノ7月14日)

## ○チェルビニア~エレナ小屋

マッターホルンには三つの名称が有ります。スイスのドイツ語圏はマッターホルン、スイスのフランス語圏はモン・セルバン、そしてイタリアはモンテ・チェルビーノ。初日はチェルビニア村からロープウェーでプラトローザに登りイタリア側からモンテ・チェルビーノの景色を脳裏に焼き付けていただきました。日程が 1 日短くなった関係でチェルビニアからアオスタ、クールマイユールを通りアヌーバへ。そしてトレッカーで混合うこの時期に偶然手配出来たエレナ小屋に向けてハイキング。アルプスの人気山小屋で山と小屋の雰囲気を楽しんでいただきました。



(モンテ・チェルビーノ)







(チェルビニア)

(クライン・マッターホルン)







(クールマイユール)

## ○シャモニ

エレナ小屋から下り、車でモンブラン直下をくり抜くモンブラントンネルを通りシャモニへ。翌日泊まるホテルにスーツケースを預け、プランプラからシャモニ谷越しに柔らかなモンブラン山群を眺めながらフレジェールに向けハイキング。その後、シャモニ駅から登山電車でモンタンベールに登りました。モンタンベールは正面に 1000mの壁を持つドリューが聳えます。目の錯覚か 1000mの絶壁が 200m程にしか見えません。比較するものが無いと目視は役に立ちませんネ。



(1000mの絶壁・ドリュー7月17日)



















(グランドジョラス)





(朝のドリュー)

(グランドジョラス)

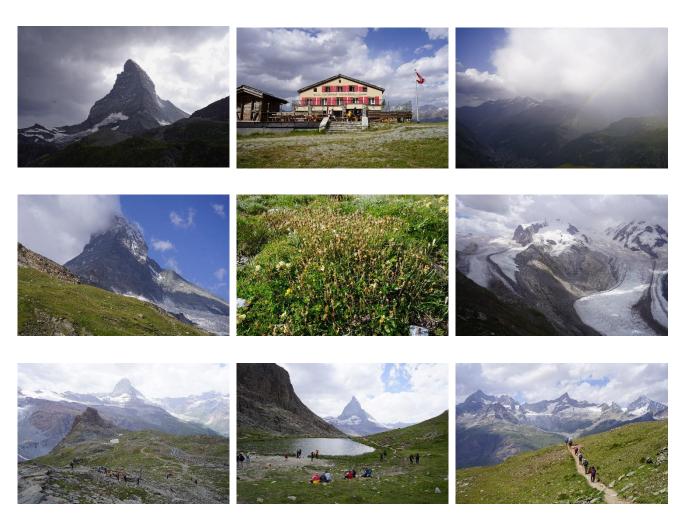
## ○ツェルマット

チェルビニアの反対側、ツェルマットに入ると一寸凛々しいマッターホルンが現れます。雲行きが怪しく雷雨が来そうで稜線のホテル目指し先を急ぎました。時ならぬ夕立でしたが、その後は美しい2 重虹が心を和ませてくれました。難しいことは分かりませんが、虹が二重に出ると一方の虹色がひっくり返ります。(一般的に虹は外側が赤、内側が紫、外側にできる虹は、外側が紫、内側が赤) 二重虹は幸運の印と言われ、翌日は晴れてスイス側のマッターホルン、さらに北壁側からもその雄姿を楽しみました。写真の花の残骸は長之助草で北壁の下方に沢山見かけますが開花は年により大きく前後します。ここには鈴草も群生しています。(余談)

午後はゴルナグラードに登山電車で登り 360 度の展望を楽しんでから、逆さマッターホルンで有名なリッフェルゼーを通り、リッフェルベルクまでハイキングしました。



(マッターホルン7月19日)





(モンテローザ山群)

これで夏のアルプスハイキングは終了です。 次は残念ですがカナダを飛ばしキリマンジャロ登頂ツアーをお届けする予定です。